

# 中央市のSDGsの取組

---

中央市役所 政策秘書課 木谷

# 中央市のSDGsの取組

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



令和3年4月

- 若手市職員有志で『「SDGsってな～に？」の答えみつけ隊』を発足し、SDGsの研究を開始。
- 大学コンソーシアムやまなし、リコージャパン株式会社山梨支社、株式会社マルモ、株式会社オオキ、株式会社アドヴォネクスト、中央市でSDGsプラットフォームを立ち上げ、やまなしSDGsカフェを共催。



第1回SDGsカフェ

# 中央市のSDGsの取組



令和3年5月

- SDGsカフェにて木谷プレゼン。中央市のファンを増やす取組として、れんげの活用を模索中と話す。
- 後日、株式会社アドヴォネクスト井上社長より、協力していただけるとの申し出あり。



# 中央市のSDGsの取組

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



令和3年6月

- 公益財団法人山梨県市町村振興協会の市町村調査研究事業に応募し、採択。
- 株式会社アドヴォネクストさん、リコージャパン株式会社山梨支社さんから寄贈されたSDGs周知用パネルを市役所階段に設置。
- SDGs推進のための予算を6月市議会に提出し、可決。予算内容は、れんげ種子購入費、SDGs周知用パネル製作費。



SDGs周知用パネル

# 中央市のSDGsの取組

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



令和3年8月

- SDGsプラットフォーム実行委員会（大学コンソーシアムやまなし、リコージャパン株式会社山梨支社、株式会社マルモ、株式会社オオキ、株式会社アドヴォネクスト、中央市）でYBS社屋に訪問し、SGDsカフェ等の活動内容を報告。



# 中央市のSDGsの取組



令和3年9月

- SDGs周知用パネルを市内公共施設5箇所、市内小中学校7箇所に設置予定。
- れんげ種子購入(200kg)・・・れんげの里プロジェクト(仮)用

# れんげの里プロジェクト(仮)

---



# れんげの里プロジェクト(仮)



れんげが稲の生育や米に与える影響を調べる実証実験。

- れんげの景観で中央市のイメージアップ！
- れんげの効果で中央市の米の価値を向上させ、持続可能な農業へ！

# 「れんげ」で何ができるか



## れんげは環境に優しい肥料？

- 市販の肥料の中には「プラスチックコーティング肥料」というものがあり、海洋プラスチック問題につながっている。
- れんげは窒素を溜め込む性質があるため、秋に種をまき、春に花を咲かせたれんげをそのまま田んぼにすきこむことで、天然の肥料になる。

# 「れんげ」で何ができるか



れんげで米に付加価値がつく？

- 化学肥料を削減し、れんげの緑肥に代替することで、「自然農法」という付加価値がつく。また、米の味にも好影響が期待できる。
- 米が高く売れるようになれば、稲作農家の減少をくい止め、耕作放棄地問題の解消につながる。

# 「れんげ」で何ができるか



## 田んぼの減少を防ぐ？

- 田んぼには自然のダムとしての役割があり、大雨を一時的に貯蓄してくれるので、浸水被害等を抑えることができる。洪水ハザードマップで甚大な被害が想定されている中央市にとって、田んぼの減少は大問題。
- れんげ効果で米が高く売れれば、田んぼの減少を食い止められるかも。

# れんげの里プロジェクト(仮) 始動

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



令和3年7月 れんげ種まき箇所決定

- 株式会社アドヴォネクストの井上社長が代表を務める「たどみ農園株式会社」所有の田んぼのうち、約40反(=39,600 m<sup>2</sup>) にれんげの種をまくことに決定。



れんげ種まき箇所の打合せ

# れんげの里プロジェクト(仮) 始動

---



令和3年10月

- 10月30日(土)午前、株式会社アドヴォネクト(従業員約20名)の「れんげの種まき」イベント実施予定